



▲ヴィッセル神戸を応援してきました

寒暖織り交ぜて、少しずつ「春」が近づいています。入学、就職、新居など、それぞれのスタートラインに着かれる人々にとって、幸先のよい門出となりますように。

◆3月4日、神戸の「ノエビアスタジアム」において、サッカーチーム「ヴィッセル神戸」の2017シーズンホーム開幕戦が開催されました。ヴィッセル神戸については、「応援する首長の会」というのがあり、年2回ほど三木谷代表や知事を始め県内の市町長などが一堂に会し、地域のクラブチームとして応援する機会があります。今回も町のキャラクターなどがステージでまちの紹介をしたりして、開幕戦の盛り上げに一役買っていました。満員のスタジアムの熱気と歓声に圧倒される試合でしたが、結果は「ヴィッセル神戸」が開幕戦を勝利で飾りました。選手の方には、播磨町の子もたちに「サッカー教室」などもご指導いただいています。

◆これまで災害時への備えとして、各方面と提携・協定を結んできていますが、2月27日には「加古郡衛生事務組合」と葬祭業者で、また3月3日には、「BiVi土山」を運営する大和リース(株)と播磨町で、災害時の帰宅困難者、買い物客、地域住民の一時避難所、支援物資の保管・提供などを定めた協定書を交わしました。こうした協定が実際に機能することがないよう願うものですが、絶対にないとは言えない自然災害などへの備えは、これからもあらゆる対策を講じてまいりたいと思っています。

◆3月議会定例会初日に、29年度予算を発表しました。今年は町制施行55周年であり、「記憶に残る」ような多くの周年事業も予定しています。そして、子育て家庭から高齢者世帯まで、町民に寄り添う、やさしい「ほっこり予算」でもあると思っています。(5月号に掲載します)

播磨町長 清水ひろ子

町制施行55周年記念ロゴマークのデザインを採用された永見さんが町長を訪問しました

企画グループ ☎079(435)0356



町が募集した町制施行55周年記念ロゴマークに採用された作品の応募者永見保さん(加古川市在住)が、清水町長を訪問しました。

永見さんは、広告業のかたわら、地域の魅力を伝える「キラリかこがわ」という

サイトの運営(インターネット上での情報発信)をしています。そこには、大中遺跡まつりなど町内で撮影されたさまざまな輝くたくさんの人の笑顔が紹介されています。

訪問を受けて、まちに対する永見さんの思いを感じた町長は、「播磨町の海や遺跡などを表したロゴマークを提案していただき、ありがとうございます。十分に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

4月から、このロゴマークを冠につけた様々な記念事業が実施されます。

子どもいきいき体験隊閉講式

中央公民館 ☎079(437)6980

3月4日に「子どもいきいき体験隊」閉講式を開催しました。

平成14年度より続いている「子どもいきいき体験隊」は小学生の子どもたちが休日を有意義に楽しく学習できるよう、中央公民館で実施しています。毎年参加者数が増加し、28年度は235人の過去最多人数の小学生が参加しました。全部で17ある教室の中でも人気教室は5倍の抽選となっています。

今年度の閉講式では、みんなで楽しく体験した1年間の作品の展示や発表を行いました。マジック教室やインドヨガのステージは、他のお友達や保護者の方から歓声があがりました。

また5月から新しく始まります。わくわくする楽しい体験にぜひ参加してください!



楽屋裏
 大中遺跡AR、もうお試しいただけましたでしょうか? お手持ちのスマートフォンやタブレットでアプリケーションをダウンロードして、大中遺跡公園をめぐる時、大中遺跡の解説や古代の人々の暮らしを再現した映像を見ることが出来ます。まるで、自分が古代の村に迷い込んだかのような楽しさです。
 3月31日(金)〜4月13日(木)に、BANBANネットワークの番組「ウィークリー東はりま」でも紹介します。(p12参照)
 (宮)

BiVi土山を所有する大和リース株式会社と「災害時における支援協力に関する協定」を締結

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町は3月3日、BiVi土山を所有する大和リース株式会社と「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、大規模災害が発生した場合に、BiVi土山の施設の一部を、物資の一時集積や帰宅困難者などが一時的に滞在する場所として使用することができるなどといった内容になっています。



▲大和リースとの調印式

バードウォッチングを開催しました

すこやか環境グループ ☎079(435)2611

2月25日に喜瀬川やため池に飛来する野鳥の生態を学ぶバードウォッチングを開催しました。天候にも恵まれ、例年より多い36種類もの野鳥を観察できました。

ミコアイサやイカルチドリ、ノスリなど初めて観察できた種類もありました。特にゴイサギは幼鳥、成鳥の両方を観察できました。ゴイサギはカラス大のサギの仲間、成鳥は赤い目をしていません。夜行性のため成鳥は大中遺跡公園の樹上で、幼鳥は喜瀬川の茂みでじっと体を休めていました。講師の立谷正樹先生によると、人目につきやすい近距離で観察できるのは珍しいとのことでした。

短い時間ではありましたが、野鳥観察歴40年超の立谷先生を中心に参加者同士でも情報交換されるなど、楽しい観察会となりました。

播磨町は小さい町ですが、ため池や河川、農地などまだまだたくさんの自然環境が残っています。みなさんも双眼鏡と野鳥図鑑を持ってかわいい野鳥に会いに行ってみませんか。



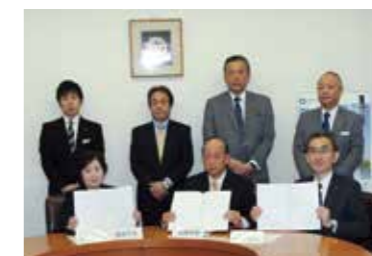
▲ゴイサギ(幼鳥)



▲梅も見頃の大中遺跡公園

全日本冠婚葬祭互助協会と「災害時における支援協力に関する協定」を締結

住民グループ ☎079(435)2363



▲全日本冠婚葬祭互助協会との調印式



▲花浄院とタリイ会館との調印式

2月27日、播磨町、稲美町と両町で組織する加古郡衛生事務組合は、(一社)全日本冠婚葬祭互助協会と「災害時における支援協力に関する協定」を締結、同日、播磨町役場で調印式が執り行われました。この協定により、大規模災害発生時に両町内で多数の犠牲者が発生した場合に、ひつぎや葬祭用品、遺体安置施設などの提供を全国の協会加盟組織より受けることができるようになりました。

また、この協定締結により、協会に加盟している大和会館(株式会社大和生研)、ベルコ会館(株式会社ベルコ)からも支援協力を得られることとなりました。

同日、タリイ会館(株式会社タリイ)、花浄院(株式会社北神社)とも協定を締結、調印式が執り行われました。

わんぱくはりまっこ



1歳

なかしま ゆずき
中島 結絆くん
 (北本荘)

Happy Birthday! おめでとう
 パパ・ママの間に生まれてきてくれてありがとう
 これからたくさんの友達と一緒に、優しく大きく育ってね〜(パパ・ママより)